

なぜ“エンコー”（援助交際）で、なぜ“自死”なのか
～言葉が作り出す新たな世界～



清水新二氏からのメッセージ

言葉は生きています
それは現実を変え、作りなおす力を持っているからです
地球温暖化、ドメスティック・バイオレンス、エンコー、そして自死
実際には見えていながら見えていなかったもの、
見えているのに見ていないことがあります
いま、言葉が新たな世界を開きます

[日 時] 2010年 1月24日（日） 13:30～15:00

[講 師] 清水新二氏 奈良女子大学教授・大阪府自殺対策連絡協会座長

主な著作 封印された死と自死遺族の社会的支援

家族生活研究家族の景色と見方

アルコール関連、問題の社会病理学的研究

共依存とアディクションー心理・家族・社会ー

非行の原因ー家庭・学校・社会とのつながりを求めてー など多数

[会 場] 仙台市福祉プラザ ふれあいホール 定員：300名 入場無料

社会福祉法人 仙台いのちの電話 お問い合わせ・ご予約は 022-718-4401

自死遺族わかちあいの集い 「すみれの会」

想いを話すことを中心にし、同じような体験をされた方々と
安心して語り合い支えあう、わかちあいの場所です

日時： 毎月第3水曜日開催 （平成21年12月のみ、第二水曜日9日）

①11:00～15:00(お弁当700円) ②18:30～20:00(参加費:無料)

場所： 仙台市市民活動サポートセンター6F セミナーホール(広瀬通駅 西5番出口前)

詳しいお問い合わせは、仙台いのちの電話事務局(022-718-4401)まで